

講義名称	新短ワークプロジェクトC	担当教員名	岩田 雅明
科目群			
科目区分等		単 位	2
対象学年次		ナンバリング	

授業のキーワード	課題解決学習（PBL）、社会人力養成、キャリア
授業の概要	学生のグループが主体となり、連携する企業とのプロジェクトに参加し、課題の発見や解決に向けた調査・分析の実施、解決策の提示といった活動に取り組みます。DPI.4の達成に関与します。
期待される学習成果（目標）	1. 社会人として必要なマナーが身につきます。 2. 実際の仕事の現場で活動することで、自分なりのキャリア観を構築します。 3. コミュニケーションの仕方、協業作業などの実践力が身につきます。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	オリエンテーション	授業の概要と評価方法について説明します。履修を考えている人は必ず出席してください。
2	プロジェクト紹介	今年度実施する6つのプロジェクトについて、活動内容を紹介します。
3	プロジェクト紹介	今年度のプロジェクトの活動内容についての紹介とグループワークの練習をします。
4	プロジェクト・グループの決定	参加するプロジェクトを決定します。グループごとの自己紹介や活動内容の検討します。
5	プロジェクト活動の基礎	各プロジェクトごとに活動のスケジュールや活動ルールについて決めていきます。
6	マナー研修	社会人としての基礎的なマナーを学びます。
7	プロジェクト活動の開始	各プロジェクトの活動スケジュールによる。
8	プロジェクト活動	各プロジェクトの活動スケジュールによる。
9	プロジェクト活動	各プロジェクトの活動スケジュールによる。
10	プロジェクト活動	各プロジェクトの活動スケジュールによる
11	プロジェクト活動	各プロジェクトの活動スケジュールによる
12	プロジェクト活動	各プロジェクトの活動スケジュールによる
13	中間報告会（予定）	これまでのプロジェクトの活動内容について簡単に発表してもらいます。
14	プロジェクト活動	各プロジェクトの活動スケジュールによる
15	プロジェクトのまとめ	集中して活動するプロジェクトは活動内容を確認します。

定 期 試 験	定期試験は行いません。
授 業 時 間 外 学 習	事前学習としての課題研究（5時間） プロジェクト活動にむけた準備（5時間）
評 価 方 法	事前学習への取り組み（20%）、毎週の活動報告書（20%）、プロジェクトについての報告（20%）、報告会での発表（20%）、個人の活動レポート（20%）から評価します。
使用する教科書（必ず購入してください）	適宜指示します。
参 考 文 献	日経『データで読む地域再生』日本経済新聞出版。 田中元子『1階革命 私設公民館「喫茶ランドリー」とまちづくり』晶文社。